

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2020-2014	利用 形態	内部研究	利用する 試料・情報	対象:脳と心の健康調査参加者 約12,000人のうち、メンタルヘルス指標の全設問に回答した男女 試料:なし 情報:調査票情報、心理検査情報	
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	—	
研究題目	脳と心の健康調査における精神疾患半構造化面接データを用いた心理指標データの検証				研究期間	2021年3月～2024年4月
実施責任者	富田 博秋	所属	東北メディカル・メガバンク機構			職位 教授
研究目的と意義	脳と心の健康調査における精神疾患半構造化面接による精神疾患への罹患の有無に関する情報を元に質問紙の心理指標の疾患への感度・特異度を検証するとともに、罹患の有無に影響を及ぼす身体・心理社会的要因の特定を行うこと。					
研究計画概要	脳と心の健康調査に登録されている成人のうちメンタルヘルス指標の全設問に回答した男女を解析対象とする。CES-D、K6、IES-R等の心理指標のカットオフを越す対象者のうち、半構造化面接に基づいてうつ病、PTSDに罹患する者を特定することで、被災地域における各質問紙の感度、特異度を検証する。また、質問紙情報を用いて、罹患の有無に影響を及ぼす身体・心理社会的要因の特定を行う。					
期待される成果	心理指標の妥当性を検証することにより、本事業で集積する情報の質の向上につなげる。					
これまでの倫理 審査等の経過	すでに東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会で承認されている研究計画の一部として実施する。 (1)地域住民コホート調査 (2)三世代コホート調査 (3)MRI追加検査					
倫理面、セキュリ ティ面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針を遵守して研究を遂行する。 データの解析は、東北メディカル・メガバンク機構スーパーコンピュータ内で行うため、高いセキュリティが担保されている。					
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業					
* 公開日	令和3年3月25日					